

トップ

[くらし・住まい
まちづくり](#)
[人権・男女
共同参画](#)
[福祉・
子育て](#)
[教育・学校・
青少年](#)
[健康・医療](#)
[商工・労働](#)
[環境・
リサイクル](#)
[農林・
水産業](#)
[都市魅力・
観光・文化](#)
[都市計画・
都市整備](#)
[防災・安全・
危機管理](#)
[府政運営・
市町村](#)
[ホーム](#) > [教育・学校・青少年](#) > [社会教育・教育コミュニティ・生涯学習](#) > [家庭教育支援](#) > 家庭教育支援の取組み訪問記録(大阪府立寝屋川高校(全日制課程)での親学習)

家庭教育支援の取組み訪問記録(大阪府立寝屋川高校(全日制課程)での親学習)

更新日: 平成25年3月8日

◇ 高校の授業で行われた親学習を訪問しました



平成25年2月4日(月曜日)午後、府立寝屋川高等学校(全日制課程)で行われた親学習の授業の様子を訪問取材しました。

人権体験学習で「親学習」を選択した高校2年生が、「たまごのワーク」やグループワークなどを通して、「親になること」や「子育て」について考えました。

教員が研修会で親学習を体験したことをきっかけに、親学習リーダーとつながり、寝屋川高校で初めて親学習を実施することになりました。

活動のポイント

1. 府教委主催の親学習教職員研修がきっかけ

「教職員対象の親学習研修を受講」

- ・教員の一人が昨年度に実施された教職員対象の親学習研修を受講したことがきっかけで、今回の親学習が実現した。
- ・教職員研修で親学習リーダーが行う親学習に感動し、「ぜひ自分の学校で生徒に親学習をしたい」と考え、学年団の教職員に提案し、実現した。
- ・府教委に問い合わせがあり、教職員研修の講師を務めた「Oyaren(親学習リーダー連絡協議会)」に繋いだ。

2. 人権体験学習としての「親学習」

「『いのち』をテーマに」

- ・寝屋川高校の人権体験学習の選択メニューの一つとして実施。
- ・3日間に分けて親学習を選択した生徒が受講する(第2学年)
- ・本時はその一日めで、4クラス(全10クラス)の生徒24名が受講した。(男子7名、女子17名)
- ・午前中に人形を使って乳児を抱く疑似体験を行い、乳児の重さや大切に扱うことを体感した。
- ・事前学習として、「自分の名前の由来」「どんな赤ちゃんだったか」「子どものころの自分が覚えているエピソード」について生徒は家庭で聞き取るなどして調べている。



人形を使って、乳児を抱く疑似体験を行う。



親学習を選択した生徒。本時は4クラス 24名



グループワークを中心に進行

3. ファシリテーターは親学習リーダー

「Oyaren(親学習リーダー連絡協議会)」

- ・ファシリテーターは、寝屋川市で活動する親学習リーダーをはじめとする5名。

- ・メインのリーダーが全体のファシリテーターとなって進行する。
- ・各グループに一人の親学習リーダーを配置し、生徒の活動をサポートする。
- ・グループの話しあいの場面では、親学習リーダーが生徒の意見を引き出したり、深めたりしている。



ファシリテーターは5名の親学習リーダー



メインのファシリテーターが進行



一つのグループごとに一人のリーダーを配置

「たまごのワーク」

- ・「傾聴のワーク」でペアトークを行う。事前に調べてきた内容(名前の由来、小さかった頃についてなど)を、メンバーを何度も入れ替えてテーマごとに語り合う。
- ・「たまごのワーク」では、卵を子どもに見立てて、子育ての一場面を疑似体験し、親になること、子どもを育てることについて考え、話しあう。
- ・親学習リーダーから「自分の子ども(卵)をグループの人に預けて外出してください」の指示に、「連れて行きたいなあ」「信用しているけど、大丈夫かなあ...」。無事に帰ってくると、ほっとひと安心する場面が見られた。
- ・その後、「子どもを育てるために大切なこと」について、グループで意見を出しあう。
- ・グループで出し合った意見について、さらに優先順位を話しあい、「大切に思うトップ3」を各グループから発表した。
- ・友だちの意見を聞きあい、意見をまとめて整理していくことで、新たな「気付き」を生み、議論が深まっていった。



「傾聴のワーク」 自分の名前の由来などをペアトークする



「たまごのワーク」 親や子育てについて考える



卵を自分の子どもに見立てて、名前や願いを考える



友だちの子ども(卵)を預かって「責任を感じる...」



グループワーク「子どもを育てるときに大切なことは？」



「愛」「お金」「周りのサポート」など 班ごとに大切に思うことを発表

活動の概要

1.実施日時

平成25年2月4日(月曜日) 13時から15時

2.実施場所

大阪府立寝屋川高等学校(全日制課程)

3.参加者

人権体験学習で「親学習」を選択した高校2年生

4.ファシリテーター

親学習リーダー

5. 内容

高校の授業で行われた親学習

「たまごのワーク」(「親」をまなぶ「親」をつたえる)

このページの作成所属

[教育庁 市町村教育室](#) [地域教育振興課](#) [地域連携グループ](#)

[1つ前のページに戻る](#)

[このページの先頭へ](#)

[お問い合わせ](#) [ユニバーサルデザインについて](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [このサイトのご利用について](#)

大阪府

本庁 〒540-8570
咲洲庁舎 〒559-8555

大阪府中央区大手前2丁目
大阪府住之江区南港北1-14-16

(代表電話)06-6941-0351
(代表電話)06-6941-0351

[大阪府庁への行き方▶](#)

© Copyright 2003-2016 Osaka Prefecture, All rights reserved.